

井小だより

浜松市立井伊谷小学校
学校だより 6月号
令和3年 6月11日

命について考える日～言葉の力を考えよう～

学校では、毎週設定されている「特別な教科 道徳」の授業で、いろいろな道徳的価値観を扱っています。その中で、子供たちに多面的、多角的な考えを引き出しながら考えを深めるよう努めています。とりわけ「命の尊重」を扱った題材では、自他ともに「人を大切にする」ということを実感できるように留意しています。

さて6月は、浜松市内のすべての小中学校で「命について考える日」として、小中学生に命の尊さや人権を守ることの大切さを、日常生活を振り返りながら、考えて行動につなげる日として設定しています。

本校も6月7日(月)の会礼では、「命について考える日」～言葉の力を考えよう～と題し、ハンスウィルヘルム作の「ずーつと ずつと だいすきだよ」の読み聞かせを通して、心に伝わる優しい言葉の大切さについて、全校児童と一緒に考えることにしました。この物語は、有名なお話なので知っている方も多いかと思いますが、どの年齢で聞いても感動するお話です。



お話は、主人公の少年が寝る時も遊ぶ時もいつも一緒にいた、飼い犬のエルフとの物語です。日常の触れ合いから主人公の少年とエルフとの間に育まれていく愛、そして年老いていくエルフとの避けられぬ悲しいお別れ

そういう中で少年は、気持ちを言葉で伝えることの大切さを実感していきます。

子供たちは、この物語を通して言葉のもつ力について考えました。

そして、勇気を出して伝えなくてはいけない言葉に真の優しさがあることに気付くことができました。

少年がエルフに伝えた言葉は、「大好きだよ」でした。その言葉はたった一言です。会礼では、心に伝わる言葉には、どんなものがあるかを子供たちと考えました。

「ありがとう」 「ごめんね」 「大丈夫？」 「おはようございます」 「さようなら」

たった一言で自分も自分以外の人を大切にできる魔法のような優しい言葉が、子供たちから出てきました。

井伊谷小学校では、「自分がされて嫌なことはしない。言わない。」という約束があります。

ご家庭でも「言葉の力」について話題にし、人と人が互いに大切にしよう文化を子供たちとともに育てていけたら素晴らしいことだと思います。

<校長 山本俊行>

★ コミュニティスクール ボランティアさん、ありがとうございます ★

今年度がスタートして2か月余り。たくさんの方々に支えられ、順調に本校の教育活動が進められています。ありがとうございます。いくつか紹介をさせていただきます。

【水泳部】



【クラブ】



【書写】



【登校】



【下校】



【栽培】



※ 他にも、「読み聞かせ」ボランティアや、学年ごとの「地域学習」でお世話になる方々など、本当にたくさんの方々に支えられて教育活動が進められています。

★ 運動会 ★

5/28(金)に、運動会を開催しました。コロナウイルス感染予防として、来賓・保護者の参観を控えていただきました。そんな中でも、全力を尽くして頑張る児童の姿が見られました。



【1・2年スマイル】



【3・4年 Make you happy】



【5・6年井の国合戦】

井伊谷小学校・引佐幼稚園後援会より、運動会の参加賞として、学習ノート・折り紙セットなどをいただきました。大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。

井伊谷小の最新情報をお伝えします！
<http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/iinoya-e/>



